

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○生徒の学習意欲や進路希望を満たす教育課程を編成すると共に、組織的な授業改善に取組み「主体的・対話的で深い学び」を実現する。 ○積極的にICTを取入れ、基礎学力の定着と発展的な学習支援を推進する。 ○地域の教育力を活用し、豊かな人間性や社会性を培う。	①教育課程が生徒の進路実現に対応しているか検証する。 ①質の高い授業研究を行い、組織的に授業力を向上させる。 ②ICT利活用授業研究推進校の指定や一人1台端末の使用が始まるため、授業等でのICT利活用を更に推進し授業改善を促進する。 ②リモート授業等により外部講師を活用する。	①教育課程を検証し、必要に応じて見直しを行う。 ①公開授業研究、教員研修を行い、意見交換を行う。 ②一人1台端末の活用について生徒アンケートを実施する。 ②外部講師を活用した研修会や授業を実施し、生徒に社会との接点を提供する。	①生徒の科目選択が円滑に実施できたか。 ①公開授業研究、教員研修を行い、結果をまとめ共有・公表することができたか。 ②授業やその他の場面でのPC活用について、満足度が70%を超えたか。 ②外部講師を活用した研修会や授業を3回以上実施できたか。					
2	生徒指導・ 支援	○共生教育の実現をめざし、高い人権意識を醸成する。 ○全ての教育活動に意欲的に取組むよう支援し、自己肯定感を高揚させると共に、協働による課題解決力を育成する。 ○教育相談体制を充実させ、安心・安全な学校生活を実現するとともに、共生教育に注力し多様性を受容する心を育成する。	①安心安全な学校生活を送ることができ、規律ある落ち着いた学習環境を整備する。 ②違いを個性として認め合えることができ、高い人権意識と共に生徒同士が活動できる。 ③一人ひとりにきめ細かく応じた相談体制を組織的に作り、学校生活を通して生徒の自己肯定感・達成感を高める。	①生活指導やSNS講座等の学習を定期的に行い、一人ひとりが高い人権意識を持って日常生活を送ることができるようになるとともに、落ち着いた学習環境を維持する。 ②学校行事、部活動等を生徒が自ら主体的に企画・運営にあたる。 ③SCやSSWを活用して生徒の支援体制を強化し、家庭連絡やケース会議などを用いて職員間での共有を行いながら学校全体で生徒の支援を行う。	①生活実態アンケートから、いじめやからかい等の件数を把握し、減少させることができたか。SNSトラブル等の発生件数が減少したか。 ②行事後のアンケート等の実施で、教育活動に生徒の主体的な参加が確認できたか。 ③組織的な支援体制を確立し、様々なケースにおいてスムーズな対応、支援、連携を作ることができたか。					
3	進路指導・ 支援	○多様化する進路希望に対応した進路支援体制を再構築する。 ○段階的なキャリア教育を体系化し、自らの進路を主体的に考え、行動できる力を育む。 ○校内外での様々な体験を通じて豊かな人間性を育み、社会で必要とされる人材を輩出する。	①上級学校への進学を中心に、進路実現に向けた環境を整える。 ②進路に関する情報提供をICTの活用によって効果的に行う。 ③インターンシップ等の社会体験学習を通して生徒の進路実現につなげる。	①放課後や長期休業中に自習室を利用した自学自習を行うためのより良い環境整備と意識啓発を行う。 ②Googleクラスルーム等のICTを活用し、様々な進路情報を全生徒へ迅速に提供する。 ③生徒の進路希望に応じた仕事の学び場やインターンシップ等の社会体験学習の場を開拓し、希望生徒に提供する。	①自学自習システム(SSH)を発展させることができたか。また、自習室や進路指導室の利用人数が前年度より増えたか。 ②全生徒を専用のGoogleクラスルーム(進路情報)に登録し、必要な情報を確実に生徒に提供することができたか。 ③インターンシップや社会体験活動を行った生徒が前年度より増えたか。また、進学や就職につなげることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>○地域との協働・交流により、多世代間交流を促進し、社会性を育む。</p> <p>○学校情報の発信により本校への理解を深め、「行きたくなる(通わせたくなる)学校」となるよう創意・工夫する。</p> <p>○コミュニティスクールを活用し、教育内容の充実を図るとともに、学校外への発信や教育活動の共有を推進する。</p>	<p>①学校情報の発信を生徒と協力して行い、地域や入学希望者の理解を促進する。</p> <p>②地域の方の学校に対する意見・アドバイスを学校運営に反映していく。</p> <p>③地域の行事等で、生徒が活躍する姿を、地域の方に見ていただく。</p>	<p>①広報活動を生徒の主体的な活動のための実践教育の場とすると共に、一定数の志願者を確保するために広報ツールの活用を促進する。</p> <p>②学校運営協議会など学外の方からの意見をまとめ、年度内に学校運営に反映する。</p> <p>③部活動や生徒会、融資ボランティア等で地域のイベントに参加・貢献する。</p>	<p>①生徒主体の学校説明会ができたか。</p> <p>①志願倍率(志願変更前)が1.1倍を超えたか。</p> <p>②外部からの意見を令和4年度中に学校運営に反映したか。</p> <p>②地域の方々や代表の方からお礼の言葉をいただけたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>○教育公務員としての意識向上を図り、事故・不祥事の防止を徹底する。組織的なチェック体制を整える。</p> <p>○有事の際は、避難所としての機能を果たすため、地域と協力して防災活動を行い、生徒の防災意識の向上を図る。</p>	<p>①教育公務員としての意識向上を図るため、現状を把握・分析し改善策を検討し、意識を高める。</p> <p>②学校内の防災体制の整備と、地域との連携をより配慮した防災教育を推進する。</p>	<p>①校内電子掲示板を活用して不祥事防止アンケートを実施し、教育公務員としての自覚を高める。また、個人情報の管理手順、成績処理マニュアル、入学者選抜マニュアル等、組織的なチェック体制を整える。</p> <p>②地域、自治体と連携・協働した防災訓練を実施する。地震や洪水など新たな視点を加えて備え、防災備品の管理・備蓄促進を行い、防災マニュアルの定期的な見直しを行う。</p>	<p>①不祥事防止アンケートの回収率が100%で、当事者意識が高まったか(Googleアンケートの利用)。また、ICT利活用推進校として、情報管理等のマニュアル化・一般化ができたか。</p> <p>②職員・生徒・地域と授業や学校行事等を活用し防災研修を実施できたか。また、地震や洪水に備えた防災マニュアルの見直しができたか。</p>					